

## 中津川流域（小若沢～滑沢）アイスクライミング

【日程】2月13日(月)

【メンバー】CL 平野(直) 宮城 山本(晃) 小原(記録)

【山城】奥秩父／中津川流域・小若沢～滑沢

【行程】こまどり荘(9:45) 小若沢出合(10:15) 小若沢(11:30) 滑沢 F1(15:00) こまどり荘(17:00)

5:30 過ぎに千葉を出発し、こまどり荘前に駐車。天気も良く寒さも和らぎ氷の具合が気になるが冬の沢中に入るには最高の陽気。

今回は小若沢左第一ルンゼに向け遡上予定であり、小若沢に入る為中津川を渡渉する。まずは川の凍りついた場所を選定しながら、全てがカチカチに凍った場所が無く水深が浅そうで氷の具合も比較的良さそうな場所を1人ずつ。無事濡れることなく対岸へ。

小若沢は入ると直ぐに堤防がある為左岸から入り巻く。小若沢左岸から1本目に入るルンゼへ降りるのだが、なかなかの高度で切れ落ちており下まではっきり見えず。まずはCLの様子を見て頂きながら、大丈夫そうだ。ちば山初山行のYさんは懸垂下降初挑戦ながらガッツリな懸垂下降となったがレクチャー後慎重に、難なく沢床へ。

降り口は洶れルンゼらしいのだが凍りついた床になっていた。ここから小若沢へ再度アイゼンを付け懸垂下降しながら小若沢へ入った。

無事1つ目の堤防は乗り越したようだが、先にはもう1つまた面倒そうな堤防が立ちはだかっている。乗越し左ルンゼまで行くには時間が押しそうな感もあるし、アイスクライミング練習する時間も欲しいな～。ということで隣の滑沢のF1が初心者のアイスクライミング練習には良いらしいので今回小若沢は止め、トラバースしながら滑沢に移動する事となった。

山肌に雪はついておらず一見普通の土面に見えるが、土は凍りついている。灌木や草等の掘みどころも乏しかった為トラバースもより緊張を強いられる。際どい箇所はフィックスを張り通過。滑沢の沢床に懸垂で降り、F1までの傾斜緩めの小滝はダブルアックスでクライムダウンした。

F1滝の落ち口にはラッキーな事に真新しいV字スレッドに残置があり。スクリュー2本追加し流動分散してトップロープ支点を作っていただきF1下まで懸垂下降後、アイスクライミング練習とした。

リーダー持参の新旧数種類のアックスを試させてもらい、やはり最新式はかかりが違うね～なんて超初心者にして生意気にも評論してみたり、最後にスクリューの入れ方根元まで入らなかった場合の対処等をお勉強させて頂いたりワイワイ楽しい時間はあっという間に

過ぎて行った。

アイスクライミング以外にもロープワークも含め、自身でも色々と実践させて頂く事ができ充実の山行となった。初参加 Y さんもいきなりの懸垂下降の連続やらバリエーション度の高い山行となったようですが、感無量です！との事でした。

滑沢へはアクセスが良くこまどり荘にかかる吊り橋からすぐ入渓できる。

今度は滑沢に直でアイスクライミングに来たいね～と盛り上がりながらこの日の山行はお開きとなった。



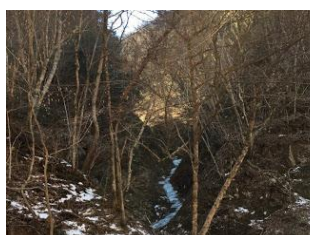
一人ずつ渡渉



ルンゼに懸垂下降



ルンゼから小若沢へ



滑沢へトラバースで移動



冬も沢は楽しい～♪





滑沢 F1 上



アイスクライミング練習



スクリューを入れる練習



充実の1日でした！